

御 案 内

2015 年度事業 第 48 回の施策 & ビジネス講習会

“頑張れ建設業～探せNEXT市場”



建産廃ゼロ協

160314

48 回目です。例年「災害テーマ」を適宜入れてきました。堅牢なコンクリートもアスファルトも極論すれば防災です。今の時代、建設関連事業者が「災害」に対し知見を広める事は、義務と言っても過言ではありません。今回も、その一環として、コンクリートの専門家である**広島工業大学十河茂幸教授**をお招きしました。37 年間大林組の技術研究所でコンクリートを研究され、明石大橋建設等に関わられました。今回は「コンクリートの寿命」という固い話を軟らかい表現でお話頂きます。又、**国交省道路部梅田俊夫様**より上記テーマに呼応した橋梁の老朽化対策のお話も頂きます。会員企業で取り入れられそうな事が一つでもあれば幸いです。

いつもの様に県立広島大学、修道大学、広島工大の先生方や学生もお誘いする予定です。会員企業の今回テーマ担当関連部門、人事部門、女性社員と多様な方々をお誘いの上、御参加下さい。いつもの様に（顧客をお誘いする・環境配慮商品の開発・学生との対話等）自社に即した切り口でお聞き下さい。話さには損々！

記

開催月日：2016 年 3 月 14 日(月)

場所：“オリエンタルホテル広島” 広島市中区田中町 6-10 (082-240-5111)

開催時間：15 時 20 分～17 時

《頑張れ建設業～探せNEXT市場 N048》

15 時 20 分 I. コンクリートの寿命 (40 分程度)

講師：十河茂幸（広島工業大学 工学部 環境土木工学科 教授）

近年、コンクリート構造物の早期劣化が問題視されています。しかし、もともとコンクリートは、長寿命な材料です。そこで、どうして早期に劣化するのか、どうすれば寿命が伸ばせるのか、早期に劣化したコンクリート構造物の事例を挙げて延命化策等を概説していただきます。また、世界と日本の現存する歴史に残るコンクリート構造物などを紹介するなど、固いコンクリートの話を軟らかくお話を頂きます。

16 時 II. 橋梁の老朽化対策～主な損傷と対策事例の紹介 (20 分程度)

講師：梅田俊夫（国交省中国地方整備局道路部 道路構造保全官）

老朽化対策の枠組みやコンクリート橋の塩害、アル骨、RC 床版損傷等と対策事例等のお話を頂きます。

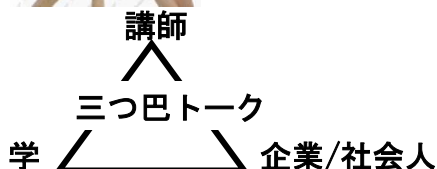
16 時 20 分 (頃) III. 国民目線本音トーク (参加者との意見交換・質疑) (45 分程度)



学 ⇄ 講師

学 ⇄ 会員

会員 ⇄ 講師



17 時 終了

コーディネーター：中河原 達真（建産廃ゼロ協：企画情報部会長）

建産廃ゼロ協 事務局（事務局長：古井博）

広島市西区草津南 3-2-12 TEL 082-278-5044 / FAX 082-278-5153

e-mail: zerokyo@utopia.ocn.ne.jp

申込：会場都合により 50 名で締切らせて頂きます。当日予告なく演題・講師に変更が生じる事があります。

講習会参加料（非会員）：1,000 円（頑張れ建設業～探せNEXT市場）、会員：無料。

講師プロフィール

十河（そごう）茂幸（しげゆき）。1948年生。広島市在住。

37年に渡り、大林組の研究所で、コンクリートの研究・開発を行う。『コンクリートのスペシャリスト』。世界最長の吊橋を、50万立方メートルの重さと頑丈さで支えている「明石海峡大橋（写真1）」のコンクリート技術を中心になって支えた経験を持つ。現職は広島工業大学 工学部 環境土木工学科 教授

（主な研究）

- ・コンクリートの長寿命化の研究（写真2）から、多彩な機能を持たせる研究まで、コンクリートの可能性を追求している。
- ・日本中で必要とされている『コンクリート診断士』の育成にも注力。



「明石海峡大橋（写真1）」



「500年コンクリート（写真2）」

「自然災害で人命が奪われたというニュースに触れる時ほど、無念さを感じる瞬間はありません。被災しても、せめて人命は助かる。インフラをきちんと整備しておかなければいけないと思うんです」と、十河先生は強調します。「東北の震災では、津波で多くの方が命を落としました。防潮堤はあまり役に立たなかった。しかし、津波にビクともしなかったコンクリートのビルもあり、そうしたビルの上階に逃げ込んだ人は、難を逃れています。どんな構造物が人の命を救うのか、という視点が必要だと思いますね」。コンクリートの専門家という立場から、震災で発生した東北のがれき処理対策を検討する会議にも参加。先生は、コンクリートによる社会貢献を自らの使命だと考えているのです。

（広島工業大学HP教員紹介～ゼミ取材 こぼれ話より）